

☆「最新技術と日本文化」(奥山美沙)

私は「国際展示場駅」から徒歩2分の所にあるパナソニックセンター東京に行った。ここでは文化プログラム「文化のちから特別企画展」が行われていた。

「文化のちから」のテーマになっていたのは衣食住だ。オリンピック・パラリンピックに向けてパナソニックが日本の最新技術をつかい、日本の文化を多くの人に伝えていくという企画だ。プログラムの中には様々なコーナーがありたくさんの人が楽しめる内容となっている。

私はその中でも一際目立つ「日本の色」のコーナーに足を運んだ。そこには筒状の空間に9枚の大きなパネルがぐるりと並べありパネルには様々な色の名前が映し出されていた。使い方は簡単だ。コーナーの中心においてあるタブレット端末のに向かって色の名前を言うとその色が9枚のパネルに映し出されるというものだ。パネルに映し出される色は部屋中に反射してとても鮮やかで美しいものだった。

日本人は古来より400以上の色を使い分けてきた。それを他国や若い世代に伝えていくことは決して簡単なことではない。だが最新技術を使用することで日本伝統的な衣食住の良さを今まで以上に分かりやすく伝え、他国の方々にも私達にも日本の伝統を身近に感じることができるだろう。

2020年にオリンピック・パラリンピックを控えた日本は、この国の文化である衣食住の特色を現代の人に再確認させるのはもちろんのこと、他の国々にもこの良さを広げていくことが大切なのではと私は思う。